

プロフェッショナリズムと行動科学

責任者名：尾崎 哲則

学期：後期

対象学年：2年

授業形式等：講義

◆担当教員

尾崎 哲則(医療人間科学 教授)

川戸 貴行(衛生学 教授)

竹内 義真(総合歯科学 助教)

尾崎 愛美(衛生学 助教)

◆一般目標 (GIO)

歯科医療における歯科医師のプロフェッショナリズムについて学び、健康支援者としての必要なアプローチを実施するために行動科学を理解する。

◆到達目標 (SBO s)

- ・プロフェッショナリズムを説明できる。
- ・プロフェッションとしての歯科医師のあり方を説明できる。
- ・プロフェッショナルとしての臨床倫理判断について概説できる。
- ・行動形成における動機付けについて概説できる。
- ・健康支援と行動変容の意義を説明できる。
- ・保健行動とコンプライアンス行動が説明できる。
- ・段階的变化モデルについて説明ができる。

◆評価方法

医療倫理ワークシート及び授業の振り返りシート（75%）と課題レポート3回（25%）で評価する。授業の振り返りとして、医療倫理ワークシート・振り返りシートを授業中に行い、授業後に提出する。次の時間に、シートについての解法を原則論に従って解説する。課題レポートは、授業開始時に実施予定を伝える。

◆オフィス・アワー

担当教員	対応時間・場所など	メールアドレス・連絡先	備考
尾崎 哲則	月曜日 17:00~18:00 医療人間科学教授室 (3号館7階)	ozaki.tetsunori@nihon-u.ac.jp	
川戸 貴行	月曜日 17:00~18:00 衛生学教授室 (1号館2階)	kawato.takayuki@nihon-u.ac.jp	
竹内 義真	月曜日 17:00~18:00 総合診療科医局 (本館3階)	takeuchi.yoshimasa@nihon-u.ac.jp	
尾崎 愛美	月曜日 17:00~18:00 衛生学研究	ozaki.manami@nihon-	

	室 (1号館2階)	u.ac.jp	
--	-----------	---------	--

◆授業の方法

授業は、講義を中心とする。事前に授業内容に関連する資料を配布するので、必ず事前に読んでおくこと。講義中に当日のテーマに関する授業の振り返りとして、医療倫理ワークシート・振り返りシートによる演習を行なう。次回の授業で、原則論に従った考え方を解説する。

◆アクティブ・ラーニング

事前に授業内容に関連する資料を配布するので、必ず事前に読んでおくこと。従って、授業は、事前学習を行なっていることを前提として進行することもあるので、留意しておくこと。

◆教材(教科書、参考図書、プリント等)

種別	図書名	著者名	出版社名	発行年
教科書	スタンダード社会歯科学(第7版)	石井拓男、尾崎哲則、平田創一郎、平田幸夫 編	学建書院	2018
教科書	よき歯科医療人になるための倫理・プロフェッショナルリズム教育プロフェッションワークブック	日本歯科医学教育学会 編	医歯薬出版	2019

◆DP・CP

[DP1]豊かな知識・教養に基づく高い倫理観：医の尊厳を理解し、法と倫理に基づいた医療を実践するために必要な豊かな教養と歯科医学の知識を修得できる。

[DP8]省察力：プロフェッショナルとして生涯にわたり、振り返りを通じて基礎・臨床・社会歯科領域において自らを高める能力を身につけている。

[CP1]歯科医学と医療倫理の基礎的知識を修得し、社会人としての品格と医療人になるための自覚を養成する。

[CP3]幅広い教養と歯科医療に必要な体系的な知識を基に、論理的・批判的思考力と総合的な判断能力を育成する。

[CP6]他者の意見を尊重し、明確な意思疎通のもと、円滑な人間関係を構築するためのコミュニケーション能力を養成する。

[CP7]歯科医師の責務を自覚して、責任あるリーダーシップ発揮し、患者を中心としたチーム医療における適切なコミュニケーション能力を養成する。

◆準備学習(予習・復習)

授業の復習とともに、事前配布の次回資料について読んでくること。

◆準備学習時間

各々授業時間半分相当を充てて予習あるいは復習を行うこと。

◆全学年を通しての関連教科

自主創造の基礎 1

自主創造の基礎 2

医療と倫理

医療と福祉

医療コミュニケーション

医療面接

口腔衛生学

歯周病学

歯科保健医療と社会

◆予定表

回	クラス	月日	時間	学習項目	学修到達目標	担当	コアカリキュラム
1 ・ 2		9.7	6 ～ 7	1. プロフェッショナルリズム 1)プロフェッショナルリズムとは何か 2)プロフェッショナルリズムと歯科医療	・プロフェッショナルリズムとは何かについて概説できる。 ・プロフェッショナルリズムが医療の中で大きな課題となってきた経緯を知る。 ・プロフェッショナルリズムが、欧米での歯科医療の中で、現在どのように扱われているかを理解する。	尾崎 哲則	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
3 ・ 4		9.14	6 ～ 7	1. プロフェッショナルリズム 2)プロフェッショナルリズムと歯科医療 3)プロフェッショナルリズムと医療倫理	・歯科医療とプロフェッショナルリズムとの関連について概説できる。 ・医の倫理に関する国際的規範をプロフェッショナルリズムからの見方について概説できる。 ・従来から言われてきた医療に関わる倫理とプロフェッショナルリズムとの関連について説明できる。	尾崎 哲則 竹内 義真	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 A-1-1) 医の倫理と生命倫理
5 ・ 6		9.28	6 ～ 7	1. プロフェッショナルリズム 4)プロフェッショナルリズムと生命倫理 5)プロフェッショナルリズムと臨床倫理	・生命倫理の基本原則（四原則：Beauchamp, Childress）について、説明できる。 ・臨床倫理判断の基本的な手技（倫理検討シート：Jonsen 4 box）について理解する。	尾崎 哲則 竹内 義真	A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権 A-1-1) 医の倫理と生命倫理

7 ・ 8	10.5	6 ～ 7	1. プロフェッショナルリズム 6)プロフェッショナルリズムと臨床現場 7)プロフェッショナルリズムと患者	・患者さんと医療人のあり方について、理解を深める。 ・医療を進める上で重要であるインフォームドコンセントの有効である条件を挙げることができる。	尾崎 哲則 竹内 義真	A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
9 ・ 10	10.12	6 ～ 7	1. プロフェッショナルリズム 7)プロフェッショナルリズムと患者	・患者主体の医療での、医療者の持つ裁量権と患者の自己決定権との関連について説明できる。 ・歯科医療現場での、人の意識や行動を科学的に理解していくことの意義を知る。	尾崎 哲則	A-1-2) 患者中心の視点 A-1-3) 歯科医師としての責務と裁量権
11 ・ 12	10.19	6 ～ 7	2. 行動科学の基礎 1)プロフェッショナルリズムと歯科での行動科学 2)行動科学の成立	・「行動科学」は患者－医師関係を学ぼうえで患者の意識や行動を理解するための基本的な理論であることを知る。 ・Millerの行動科学の定義と現代における応用について知る。	尾崎 哲則	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
13 ・ 14	10.26	6 ～ 7	2. 行動科学の基礎 3) 学習理論 4) 学習と動機付け 5) 行動変容	・日常場面での条件付けの形成について理解する。 ・学習における動機付けの重要性を説明できる。 ・患者教育（保健指導・健康支援）は、望ましい行動の形成と望ましくない行動を変容させる過程として捉えられることを理解する。	尾崎 哲則	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
15 ・ 16	11.2	6 ～ 7	3. 行動科学と医療 1) 保健行動とは 2) 保健行動のモデル	・保健指導（健康支援）という医療分野について理解する。 ・保健行動を概説できる。 ・保健行動の理論の基本的なものについて理解する。 ・基本的な保健行動モデルを列挙できる。	尾崎 哲則 尾崎 愛美	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理

17 ・ 18	11.9	6 ～ 7	3. 行動科学と医療 1) 歯科疾患と行動科学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 歯科疾患の予防や治療に関する行動科学的アプローチについて理解する。 ・ 定期的な歯科健康診査の受診の難しさを行動科学的に説明することができる。 	尾崎 愛美 川戸 貴行	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念
19 ・ 20	11.16	6 ～ 7	3. 行動科学の医療 2) 患者指導における行動科学	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者への刷掃指導のステップを列挙できる。 ・ 歯科疾患の予防・治療において重要である「プラークコントロール」指導を行動科学的に説明することができる。 	尾崎 愛美 尾崎 哲則	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
21 ・ 22	11.30	6 ～ 7	4. 医療における人間関係の理解（患者理解） 1) 患者さんの疾病への反応 2) 患者さんの特徴 3) 歯科における患者理解の特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者さんとはどのような存在なのだろうか。疾病を抱えた患者さんの心理的側面について理解する。 ・ 患者さんは、疾病をどのように受け止め、行動するのかを理解する。 ・ 歯科の臨床において求められる行動科学的な対応の概略について理解する。 	尾崎 哲則 竹内 義真	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 A-4-2) 患者と歯科医師の関係
23 ・ 24	12.7	6 ～ 7	5. プロフェッショナルリズムと健康教育 1) 健康教育とは 2) ヘルスリテラシーとは	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住民（患者）主体の健康教育について説明できる。 ・ 健康教育の定義と目的と知識・技術の伝達の差について理解する。 ・ ヘルスリテラシーが健康教育の目的であり、ヘルスプロモーションの重要な要素であることを理解する。 	尾崎 哲則	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念
25 ・ 26	12.9	6 ～ 7	6. プロフェッショナルリズムと保健行動 1) 保健行動と合理性	<ul style="list-style-type: none"> ・ コンプライアンス行動を理解する。 ・ アドヒアランスについて概説できる。 ・ 疾病の予防あるいは治療のための行動変容について理解する。 ・ 行動経済学的側面から保健行動を分析できることを理解する。 	尾崎 哲則 竹内 義真	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理 B-3-1) 予防の概念

27 ・ 28		12.14	6 ～ 7	6.プロフェッショナルリズムと保健行動 2)保健行動モデル(個人対応) 3)保健行動モデル(集団対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の行動変容と対象者個人の欲求との関連について理解する。 ・基本的な保健行動モデルである健康信念モデルを理解する。 ・代表的なモデルである段階的変化モデル(Prochaska Model)を説明できる。 ・代表的な健康政策モデルであるプリシード・プロシードモデルについて説明できる。 	尾崎 哲則	B-3-2) 歯科疾患の予防と健康管理
29 ・ 30		12.21	6 ～ 7	7.新しいプロフェッションの領域 1)歯科健康支援を見直す 2)歯科医療におけるプロフェッショナルリズム	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の歯科医師が行う診療領域と、社会が要求する診療領域の格差について考える。 ・多様化する国民の要求とプロフェッションとしての歯科医療者の関係について概説できる。 	尾崎 哲則 竹内 義真	A-4-2) 患者と歯科医師の関係

